

議案審議

一般会計予算や条例の一部改正などに対する質疑応答の内容を、要約して紹介します。

平田村職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について

問 高橋七重議員

男女とも柔軟な働き方ができるような雇用環境を整えることは必要なこと。特に男性職員が早く育児休暇をとれるよう、他の職員にしわ寄せがいかないようにするために職員の補充などはするのか。

答 総務課長

制度の趣旨を事前に説明し、取得しやすい環境を整えている。職員について補充はせずに、事務分担の見直しや配置をして対応する。

令和7年度平田村一般会計予算について

◎蓬田岳森林公園指定管理委託料と公社の収支について

問 三本松和美議員

令和5年度の公社の収支（事業費）の決算では、199万1千円の赤字でした。人件費分（別支出）は、4千978万円です。令和7年度の公社の収入増と誘客をはかる施策を伺う。

答 企画商工課長

首都圏旅行会社等について企画を依頼をしてきた他、芝桜まつりでの夜間ライトアップやあじさいゆりまつりでの早朝開園。秋には新たなイベン

トの開催により誘客を図る計画をしている。

また、福島ブレデステイネーションキャンペーンがJRグループ6社と県内自治体の連携により開催され来場者の増加、収入の増加につながると考えている。

◎本村の財政状況について

問 三本松和美議員

今年度予算の
① 特定財源の内訳は。
② 臨時一般財源の内訳は。
③ 経常経費の内訳は。

答 総務課長

① 特定財源は9億7千400万円。
② 臨時的一般財源は3億4千600万円。
③ 経常経費は33億8千万円。

再問 三本松和美議員

村は、財政的にゆとり

がない中で、財政調整基金にあと3億円くらい積み立てる目標を持っているが、切り詰めの対策をどのように考えているのか。

再答 総務課長

それらの歳出科目ごとの目的に沿って予算を編成し、必要な部分を取捨選択しながら事業実施、予算編成をしている。

村は7年度が起債返済のピーク。令和11年度末には村債残高が30億円程度になる。

◎スクールバス運行について

問 三本松和美議員

保護者と話し合いをしてから、バス会社と運行内容の契約を進めるべきではなかったか。

答 教育課長

保護者への通知案内等を行ない、現在では、す

でに乗車を希望する児童生徒のとりまとめが完了し、受託業者との最終打ち合わせを行なっている。さまざまな希望や要望があることは承知しているが、全ての要望に添えるのは困難である。

再問 三本松和美議員

村民から距離の制限撤廃や利用したい人が利用できるような希望している。子育て政策の一環として重要であると考えてるがどうか。

再答 教育課長

バス停まで来れば乗れるように、段階的に距離の制限は撤廃してきた。

◎社会資本整備総合交付金による村道逆水論田線（小平工区）道路改良工事1千6百50万円の工事等について

問 三本松和美議員

① 路線の認定と同様に

路線変更の議会同意が必要にならないのか。
② 用地測量は行われているのか。

③ 道路台帳を整備するが、道路敷をどこまで拡張するのか。

答 産業建設課長

① 議決が必要な事項としては、路線の認定、路線の起終点地番の変更、路線の廃止となる。従って、令和7年度に予定している工事箇所は、区域の変更となるので、共用区間の供用開始後、速やかに告知する予定であり、議会の同意は不要。

② 令和7年度に工事を予定している接続箇所は、既に用地測量を行い用地買収済となっている。

③ 道路台帳に明記される道路敷は、道路構造令に規定された歩車道及び法面になる。

再問 三本松和美議員

① この場所は、残地問題で議論されている。

村は土地収用法で対応して行く内容で議会の議決を得たが、認定を受けることができない心配があるが、問題なかったと言ふことか。

③ 道路敷と残地の関係は明確に表していく事で理解してよいのか。

再答 産業建設課長

ただいまの質問の中には、今回の逆水論田線の道路改良工事に係る予算の議案審議外の内容なので、答弁は差し控えたい。ただ、残地について当該箇所は、現在、逆水論田線小平工区の工事施工の中で盛土を行う建設発生土のストックヤードとして活用しており、工事終了までは長期間かかることが予想される。

ストックヤードとしての活用が終了した後の利

活用は、今後の地域の要望に沿った形で検討したい。

問 高橋七重議員

「自治体情報システムの標準化・共通化事業」は、なぜ企画商工課の仕事になるのか。企画商工課本来の仕事ができるよう配慮すべきではないか。

答 総務課長

デジタル化については日々情報が更新され、技術が進歩している。そういった情報をより取りやすい組織として企画商工課で扱うことにした。

問 高橋七重議員

令和7年度予算には、議会から出された要望などは1つも予算化されていない。それだけ財政に余裕が無いということか。このような状況はいつまで続くのか。

答 総務課長

これまでの住民サービスや事業を推進し、1億円の新規入れをする等堅実な財政を維持している。議会からの要望についても慎重に検討した。高齢者の足の確保、移動販売車の導入など重点事項として位置付けている。小平地区の小さな拠点づくりにについても推進していく。

問 高橋七重議員

パークゴルフ場はこれまで、暑さや寒さに強い種をそれぞれ播種し、育成してきた。これを止めて芝生の張替えにした理由はなにか。また、左側にグラウンドゴルフ場も整備しているが、芝生を剥いだり、整地することはしないのか。

答 教育課長

夏の異常な暑さでうまく育たなかったこと。ま

た肥料を施すことで雑草も育ち、整備に大変苦慮した。グラウンド全体を張芝にすると、相当な金額になってしまいが、現在は2コースがほぼ完成している。芝が必要なものだけに張ればよい状況。

元々グラウンドゴルフ場として整備をしたのではないので、そのまま使用してもらう。

問 高橋七重議員

屋内ゲートボール場は、かなりの老朽化により改修が必要なのは理解する。ただ、ゲートボール競技人数がかなり減少していることから、ゆくゆくは他の競技に使えるようにすることも視野に入れないかならないのか。

答 健康福祉課長

令和6年度の協会加入者は4チームで22人。使用日数は72日。これまで

も野球やテニスの練習、消防団の訓練などに使用している。

討論

反対 高橋七重議員

令和7年度は、これまでの大きな事業の公債費の返済があと数年は続き、それまでは厳しい行財政を強いられる。過疎債を充てにして事業を進めてきた結果であり、こうなることは予想できたはず。

また、公社や株式会社等の運営についても指定管理料以外の予算をつぎ込むことも健全な運営とはいえず財政を圧迫する原因になっている。

そのためか、議会や一般質問の要望が1つも予算化されていないのが残念。

賛成 遠藤正彦議員

過疎債を利用した統合中学校建設等の事業は議会の議決を経て執行されたもの。過疎債が交付税措置率の観点から有利な

特定財源にあたることに疑いはない。

公社等に対する指定管理料以外の支出について、ジュピアランドにかかる各種施設は村の財産である以上、施設の修繕や維持改修にかかる費用について、村が支出すること問題ないと考ええる。

過去の質問や提案が組み入れられた予算編成であると受け止める。よって賛成する。

(採決 賛成10・反対1)